

表彰約3割が辞退

議員表彰

都市議会
議長会

廃止など見直しも

都市議会議長会(会長、山田勝義・多摩市議会議長)は14日、府中市内で開いた議員研修会で、今年度に在職期間が一定の年数以上に達した議員82人と事務局職員17人の計99人を表彰した。しかし、同表彰制度にかかる費用が公金から支出されることなどから、一部議員が廃止を求めており、辞退者も続出している。

同表彰制度は、市議会的一般市議7年以上などが対象。職員は事務局長の在職期間が5年以上などの条件が付き、対象者には記念品のボールペンと表彰状などが贈られる。

これに対し多摩地域の無所属を中心にした市町村議26人で行く「市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク」が廃止を訴えている。今年度の表

彰関連予算額は約107万円。各市の負担金から支出されることなどから、同ネットは「合理的な妥当性があるとは考えられない」と主張。また、辞退者も多く、今年度の場合には該当者139人の約3割にあたる40人が辞退。表彰を受けたのは99人だった。

山田会長は取材に「市政や議会の運営に尽力した人を表彰する目的だが、廃止を含め見直しの検討に入っている」と語った。

【木村健二】